

新規事業採択時評価結果(平成19年度新規事業化箇所)

担当課:都市・地域整備局街路課
担当課長名:松谷 春敏

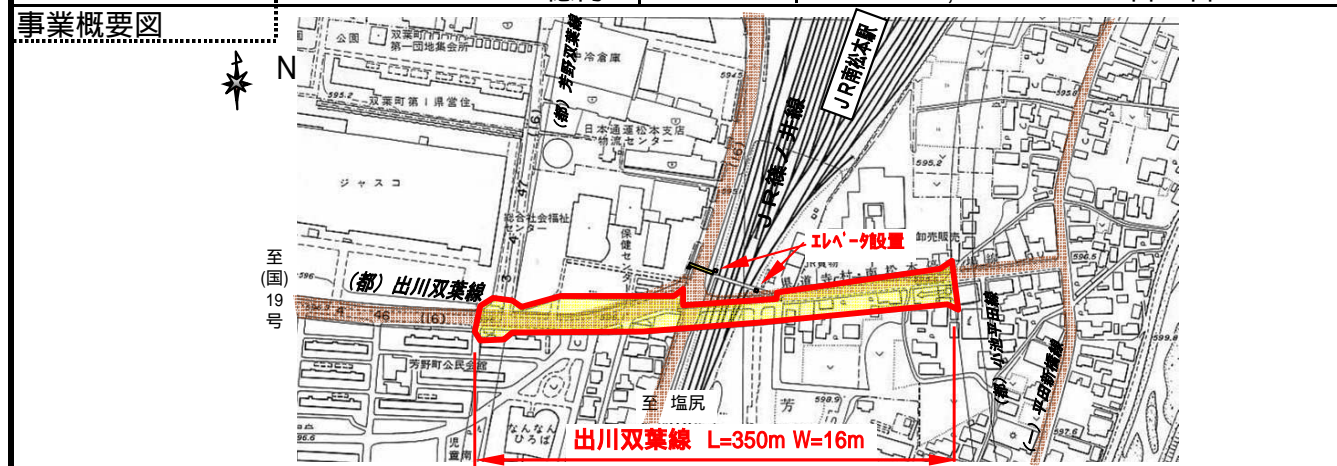
事業の概要

事業名	いでがねたばせん 出川双葉線	事業区分	街路	事業主体	長野県
起終点	ながのけんまつもとし いでがねたばせん 長野県松本市出川～双葉			延長	0.35km

事業概要
本路線はJR篠ノ井線を東西に挟み、立体化するものであり、(国)19号と旧国道である(一)平田新橋線を結んでおり、沿道には、東側に住宅や都市公園、西側にJR南松本駅、大型商業施設、福祉施設が集積している。当該区間の宮田前踏切はJR篠ノ井線南松本駅の構内踏切であり、JR東日本旅客とJR貨物により、遮断時間は4時間22分(分/12h)に及び、ピーク時遮断時間は42分18秒で「開かずの踏切」となっている。また、踏切内は歩道もなく、車道幅員も狭い。さらに、構内踏切であるため踏切延長も長く、踏切に隣接して交差点があるため、踏切事故が懸念されている。

事業の目的、必要性
本事業により、速効対策として、既設歩道橋にエレベータを設置して、自転車利用者、高齢者等の利用を可能とし、歩行者の安全を確保するとともに、引き続き、立体化を行い踏切を除却することにより、安全で円滑な交通を確保し、良好な都市づくりに寄与するものである。

全体の事業費	40 億円	計画交通量	11,400 台/日
--------	-------	-------	------------



関係する地方公共団体等の意見
松本市長・・・事業計画について同意
JR東日本、JR貨物・・・新設立体について同意

事業採択の前提条件
B/Cが2.5と便益が費用を上回っている
関係者の合意を得ており、円滑な事業執行の環境が整っている

費用対便益	B/C	2.5	総費用	33 億円	総便益	81 億円	基準年 平成 18 年		
			事業費	33 億円	維持管理費	0.2 億円		走行時間短縮便益	70 億円
事業の影響	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	根拠						
			【渋滞損失時間の改善】 47.0千人・時間/年 26.4千人・時間/年 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 45.6千人・時間/年 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】 開かずの踏切の解消(遮断時間4時間22分/12h、ピーク時遮断時間42分18秒)						
	事故対策	【死傷事故率】 事故比率 11.83 【その他の特徴】 踏切横断延長が長く、狭隘な踏切のため、踏切事故発生の可能性が大							
		歩行空間	幅員拡張により、歩行空間が確保され歩行者の安全性が確保されるエレベータ設置により、バリアフリー化が促進される						
	社会全体への影響	住民生活	JR南松本駅への利便性向上 社会福祉センター、都市公園への利便性向上						
		地域経済	開かずの踏切、狭隘な踏切の解消 都市計画道路密度の向上						
		災害	-						
環境		CO2排出削減量約631.2t/年 NOx排出削減量約1.9t/年 SPM排出削減量約0.2t/年							
地域社会	-								
事業実施環境			地元から熱心な要望						

採択の理由
費用便益比が2.5と便益が費用を上回っているとともに、事業関係者が合意していることから事業採択の前提条件が確認できる。
また、安全で円滑な交通を確保し、良好な都市づくりに寄与するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。